

2025年1月6日

2025年 社長年頭所感

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお祈り申し上げます。

伊藤ハム米久ホールディングス株式会社（東京都目黒区）の代表取締役社長 宮下功による「2025年 年頭所感」の要約を、下記の通りお知らせします。

記

昨年の振り返り

昨年は、元日に能登半島地震があり、翌2日には救援に向かう飛行機の事故と、悲しい出来事が重なる年明けとなった。一方で、パリオリンピック・パラリンピックでの日本人選手の活躍や、大谷翔平選手の活躍に日本中が盛り上がった一年でもあった。政治の世界においては、国内外ともに不安定な情勢となっている。

当社グループがやるべき課題、従業員への期待

当社グループの事業については、多様化する消費者ニーズに応えるべく、商品開発や営業対応を行なっているが、効率性とのバランスを保つことが肝要である。一方で変化への対応は、マーケティングのみならず生産・製造・調達・管理など、全ての業務において求められる。

昨年の年頭所感でお伝えした7点について、皆さん一人一人の仕事への取り組みの中で、どれだけ進展したのか、「組織として進展した」と胸を張って言えるか自問自答してほしい。

- ・無駄な仕事をやめる
- ・DXや設備投資による効率化・省人化
- ・生産性向上によるコスト競争力強化
- ・新規事業や成長カテゴリでの事業領域・規模の拡大
- ・海外市場での事業拡大
- ・実行力を高める
- ・判断基準・物差しは、コンプライアンスと安全第一を大前提としたグループの利益と成長

外部環境がますます厳しくなる中で、一段の生産性向上や競争力強化が求められる時代である。当社グループが生き残り、さらに成長していくためには、皆さん一人一人の意識改革と、具体的な行動変容への決断力と実行力が求められる。勇気を持って決断し、着実に前進する一年としよう。

最後に、当社グループは食品メーカーであり、品質問題は会社の存続に直結する。一つ一つの仕事の意味を理解し、食品衛生や安全に対する見識を高め、その上で、基本動作を徹底し、問題発生の際には迅速で正確な報連相をお願いする。また、コンプライアンスに関しても同様で、安易な判断は禁物である。皆さんで知恵を絞って、力を合わせることで問題解決につなげられる。

以上

本リリースに関するお問い合わせ先

伊藤ハム米久ホールディングス株式会社

広報 IR 室広報チーム 北垣、眞島

Tel:03-5723-6889 Fax:03-5723-8618